

いのち輝く未来を拓く

2025年日本国際博覧会に向けて

さらにその先の未来に向けて

第2回

日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

2024.10.1 tue ~ 11.30 sat

※詳細は(一社)夢洲新産業・都市創造機構、日本国際芸術祭専用ページをご覧ください
<https://yumeshimakikou.org/jiaf2024/>



日本国際芸術祭
専用ページ

The website supports
foreign languages.

主催 | (一社) 夢洲新産業・都市創造機構

特別協力 | 真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺 / 世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺
大本山建仁寺 / 鷲峰山高台寺 / 平安神宮 / 龍谷山 本願寺(西本願寺) / 東寺(教王護国寺)

後援 | 京都府 / 京都市 / 「大阪・関西万博」京都支援協議会 / (公社) 2025年日本国際博覧会協会
(一社) 関西経済同友会 / (公社) 関西経済連合会 / 大阪商工会議所

ゴールド協賛

OMRON

オムロン株式会社



岩井コスモ証券

岩井コスモ証券株式会社



想いをかたちに 未来へつなぐ

TAKENAKA

株式会社竹中工務店



長谷エグループ

HASAKI

株式会社

長谷エコーポレーション



相互タクシーホールディング
株式会社

※協賛企業様はさらに増えます。

日本国際芸術祭とは、2025年日本国際博覧会を契機に開催する新しい国際的な芸術祭です。万博までも万博後も、千年の都、文化庁がある文化首都京都を拠点に、そこに大阪や全国が繋がり、世界が繋がっていく形を目指します。アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創により文化芸術と経済社会の好循環エコシステムの構築に寄与し、文化芸術立国日本といのち輝く Well-being な日本の未来創りに貢献します。



第1版発行日 | 2024年9月18日(9月27日更新)

第2回

「日本の美と心」を世界に伝え未来を創る

日本国際芸術祭

Japan Annual-International Art Festival

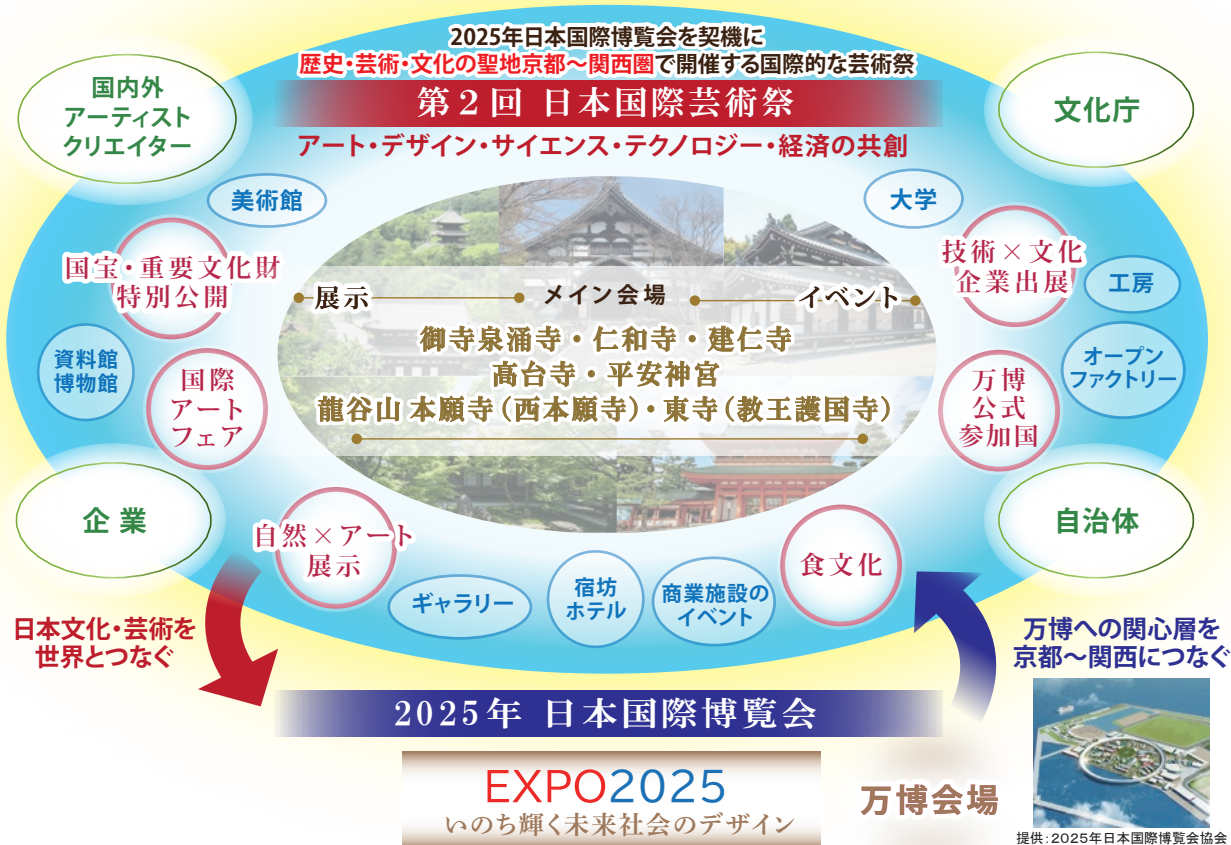
アート・デザイン・サイエンス・テクノロジー・経済の共創で、いのち輝く未来を創る

メイン会場：御寺泉涌寺・仁和寺・建仁寺・高台寺・平安神宮・龍谷山 本願寺(西本願寺)・東寺(教王護国寺)

文化庁が移転した千年の都文化首都京都を拠点に開催

日本国際芸術祭は、2025年日本国際博覧会を契機に開催する、新しい国際的な芸術祭です。万博までも万博後も、千年の都京都、文化庁がある文化首都京都を拠点に、大阪や全国が繋がり、世界が繋がっていく形を目指します。アートと経済社会、アートと企業・産業、アートと地域・社会、アートとテクノロジーの共創により、文化芸術と経済社会の好循環エコシステムの構築に寄与し、文化芸術立国日本といのち輝く Well-being な日本の未来創りに貢献します。現代アートに加え、屏風絵等の日本美術、漆や陶芸等の伝統工芸、能楽や神楽等の日本の伝統芸能を現代の作家が創作し、日本の美と心を世界に発信します。第1回は2023年9月～10月に1か月半の会期にて開催し、2024年、2025年、2026年と毎年継続していく予定です。2024年の開催期間は10月～11月の約2か月で、京都市内の国宝・重要文化財の宝庫の複数の有名寺社をメイン会場に、関西圏の美術館・博物館・ギャラリー・劇場・商業施設のイベント等を繋いでまいります。本芸術祭は夢洲新産業・都市創造機構が本部になり継続させてまいります。

日本国際芸術祭は未来に向け 京都から関西、全国、世界を繋ぎます



日本国際芸術祭 有識者委員会

2025大阪・関西万博プロデューサー



(c) David Vintiner

藤本 壮介氏



石川 勝氏



石黒 浩氏



小山 薫堂氏



中島 さち子氏



(C) Shoji Kawamura / KENTA AMINAKA

河森 正治氏



小橋 賢児氏

＋ 経済界や学界の著名な方々

最先端の芸術表現など特別な価値を提供



真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺 京都府京都市東山区泉涌寺山内町27

真言宗泉涌寺派の総本山。天皇家から篤く信仰されたお寺であり、皇室との関連が深いため『御寺(みでら)』とも呼ばれる。名は、鎌倉初期に月輪大師俊房(しゅんじょう)が宋の法式を取り入れて、大伽藍を営むことを志した際、敷地の一角から清水が湧き出たことから改称された。大門や仏殿、開山堂などが国の重要文化財に指定されており、心照殿には泉涌寺に伝わる開山大師の墨跡を始め、とくに歴代天皇の御尊影・御遺品ほか、仏画・経典・古文書など、国の重要文化財や府・市指定の文化財および未公開資料も多く収蔵している。



世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺 京都府京都市右京区御室大内33

仁和寺の歴史は仁和2年(886年)第58代光孝天皇によって「西山御願寺」と称する一寺の建立を發願されたことに始まる。翌年、光孝天皇は崩御されたため、第59代宇多天皇が先帝の遺志を継がれ、仁和4年(888年)に完成し、皇室出身者が仁和寺の代々住職(門跡)を務め、平安～鎌倉期には門跡寺院として最高の格式を保持した。昭和時代に入り、仁和寺は真言宗御室派の総本山となり、平成6年には世界遺産に登録された。



大本山 建仁寺 京都府京都市東山区大和大路通四条下る小松町

臨済宗建仁寺派の大本山。1202年(建仁2)栄西禅師が建立した京都最初の禅寺。1586年(天正14)ごろ、安国寺恵瓊により再興され、室町時代には京都五山が制定され、その第3位として厚い保護を受け栄えた。勅使門と方丈は重要文化財であり、勅使門は銅板葺、切妻造りの四脚門で、扉に矢痕があるところから矢の根門とも呼ばれる。方丈は、柿葺、単層入母屋造で、1599年(慶長4年)に安芸の安国寺から移築され、方丈前には方丈庭園「大雄苑」がある。俵屋宗達作の風神雷神図(国宝)(展示は複製)が有名であり、法堂天井には畳108枚分の大双龍図が2002年に完成した。



鷲峰山 高台寺 京都府京都市東山区高台寺下河原町526番地

1606(慶長11)年豊臣秀吉の正室、ねね(北政所)が秀吉の菩提を弔うために創建。臨済宗建仁寺派。大名茶人、小堀遠州作庭の池泉回遊式庭園(国指定史跡・名勝)には秀吉・ねねの居城、伏見城より一部を移築し堂宇として配置。幾度かの火災に遭い、現在表門、開山堂、霊屋と茶室・傘亭と時雨亭、観月台(いずれも重文)などが残る。ねねの墓所であり、秀吉の坐像を安置する霊屋内陣の厨子や須弥壇に施された時絵は「高台寺時絵」として有名。また京都市中を見下ろせる境内最上部には、傘亭と時雨亭の桃山時代の茶室がある。



平安神宮 京都府京都市左京区岡崎西天王町97

平安遷都1100年祭(1895年・明治28)に遷都のおや神様である第50代桓武天皇をご祭神として創建された。市民の総社として鎮座し、桓武、孝明両天皇が祀られている。平安京大内裏の正庁を模した応天門、大極殿など朱塗りの建築が美しく、神苑(名勝)は約3万平方メートルの池泉回遊式庭園で、東、中、西、南の4苑にわかれ、それぞれの四季の花が見事である。10月22日の時代祭行列は豪華な風俗絵巻である。



龍谷山 本願寺(西本願寺) 京都府京都市下京区堀川通花屋町下る本願寺門前町

浄土真宗本願寺派の本山。1272年(文永9)宗祖・親鸞聖人の末娘覚信尼が京都の東山大谷に建立した廟堂に始まる。第3代覚如上人のときに本願寺と公称。第8代蓮如上人の尽力により大教団に発展。1591年(天正19)豊臣秀吉が寺地を寄進、現在地に移った。1602年(慶長7)本願寺は東西に分立。御影堂と阿彌陀堂はともに国宝。書院の庭園(特別名勝)は桃山文化を代表する枯山水様式。その他、わが国最古の能舞台である北能舞台、唐門など桃山文化を今に伝える国宝建造物を多数有している。美術工芸品では三十六人家集(国宝)などを所蔵。1994年(平成6)12月「古都京都の文化財」として、世界文化遺産に登録された。



世界遺産 真言宗総本山 東寺(教王護国寺) 京都府京都市南区九条町1番地

東寺真言宗の総本山。794年(延暦13)桓武天皇の平安京造営に際し、その2年後、国家鎮護のため羅城門の東に創建。823年(弘仁14)嵯峨天皇より弘法大師空海に下賜された。講堂(重文)には大日如来を中心に国宝の五大明王など立体曼荼羅と呼ばれる21体の仏像が安置されている。金堂(国宝)は豊臣秀頼の再建で本尊の薬師三尊像(重文)を安置。御影堂(国宝)は、大師在世時の住房で、弘法大師像(国宝)と、大師念持仏の秘仏、不動明王像(国宝)を安置。五重塔(国宝)は徳川家光が再建、高さ55メートルで、わが国最高。内部は非公開。宝物館に真言密教の文化財多数を所蔵。1994年(平成6)12月「古都京都の文化財」として、「世界遺産条約」に基づく世界文化遺産に登録された。

M
01

第2回日本国際芸術祭サミット
10/10(木) 13:00—

龍谷山本願寺(西本願寺) 書院「対面所(鴻の間)」(国宝)

「第2回日本国際芸術祭」のメイン企画として、龍谷山本願寺(西本願寺)の国宝の書院「対面所(鴻の間)」にて、文化庁長官 都倉俊一氏の特別講演をはじめ、2025年日本国際博覧会や経済界の著名な方々にご登壇いただき、文化・芸術について縦横無尽に語っていただく「第2回日本国際芸術祭サミット」を開催致します。

【ご挨拶】 京都府知事 西脇隆俊氏 / 京都市長 松井孝治氏

【特別講演】 文化庁長官 都倉俊一氏

【講演及びパネルディスカッション】

阪急阪神ホールディングス(株)代表取締役会長 グループCEO 角和夫氏
経済産業省 近畿経済産業局長 信谷和重氏 ※パネルディスカッションのみご登壇
大阪・関西万博事務検討会議 共同座長 大崎洋氏
(公社)2025年日本国際博覧会協会 総合戦略室長 三浦章豪氏

【ビデオメッセージ】

(公社)2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 石黒浩氏

【パネルディスカッションモデレーター】

(株)三菱総合研究所 執行役員 事業基盤部門長兼営業本部長 高橋朋幸氏

M
02

第5回大阪・関西万博に向けて 機運醸成 京都ラウンドテーブル
10/12(土) 12:50—15:00

ホテルグランヴィア京都 3F 源氏の間

2022年11月より継続開催中の「京都ラウンドテーブル」を、2025年日本国際博覧会プロデューサーの皆様に加え、京都大学名誉教授で総合地球環境学研究所所長・理学博士の山極壽一氏・京都大学大学院 教育学研究科教授の佐野真由子氏をお迎えし、以前にも増し充実の内容でお届け致します。本イベントは大阪・関西万博きょうと推進委員会・(一社)夢洲新産業・都市創造機構・京都駅ビル開発株式会社の共催による、「京都イロドリ EXPO」のメインイベントとして開催致します。

【挨拶】 京都府副知事 鈴木一弥氏 / 京都市副市長 岡田憲和氏

【スピーチ】 大阪・関西万博きょうと推進委員会 座長 総合地球環境学研究所 所長

2025年日本国際博覧会 シニアアドバイザー 山極 壽一氏
2025年日本国際博覧会 会場デザインプロデューサー 藤本 壮介氏
2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 石黒 浩氏
京都大学大学院 教育学研究科 教授 佐野 真由子氏
2025年日本国際博覧会 会場運営プロデューサー 石川 勝氏
2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー 河森 正治氏

【ラウンドテーブル モデレーター】

ボストン コンサルティング グループ 日本共同代表 内田 有希昌氏

M
03

第2回公式参加国共創サミット(第6回公式参加国共創フォーラム)
11/7(木) 13:00—

龍谷山本願寺(西本願寺) 書院「対面所(鴻の間)」(国宝)

「第2回日本国際芸術祭」のメイン企画として、政府代表 特命全権大使 姫野勉氏をはじめとし、カナダ・タイ・韓国・モンゴルの総領事様、京都府・京都市、2025年日本国際博覧会協会の皆様が一堂に会しグローバルな視座でのディスカッションを展開していただきます。龍谷山本願寺(西本願寺)の国宝の書院「対面所(鴻の間)」にて、開催致します。

【ご講演及びパネルディスカッション】

政府代表 特命全権大使(関西担当) 姫野 勉氏
2025年大阪・関西万博 カナダ政府代表 ローリー・ピーターズ氏
在大阪タイ王国 総領事館 総領事 アッカラボン・チャルムノン氏
在大阪大韓民国 総領事館 総領事 チン・チャンス氏
在大阪モンゴル国 総領事館 総領事 アルタイ・エンヘアマガラン氏

【パネルディスカッションモデレーター】

(株)三菱総合研究所 執行役員 事業基盤部門長兼営業本部長 高橋朋幸氏

M
04

日本の誇り クラフトアート 伝統×革新展
前期10/1(火)–11日(金) 後期10/12(土)–20(日)

世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺 黒書院

古来より伝わる伝統技術、そしてその継承者は日本の誇りでありかけがえのない宝です。たゆみない修練に裏打ちされた漆・陶芸・染色・和紙・木工等の伝統技法を駆使し、新しい作品と独自の世界観を生み出す現代作家達の展覧会を開催致します。仁和4年(888年)に創建され1150年近い歴史が続く世界遺産総本山仁和寺の時空間と作家・アーティスト、鑑賞者のいのちが響き合い、いのちの輝きが共創するアート展です。

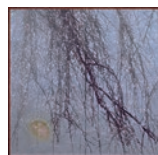
出展作家・参考作品



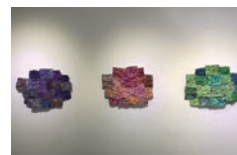
藤原郁三



八幡はるみ



倉内啓



山口和加子



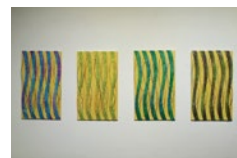
草間詰雄



佐伯和子



今村敬子



吉田淳子

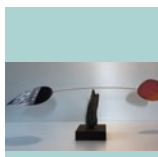
M
05

アップサイクルアート展 ～未来のために～
10/17(火)–24(火)

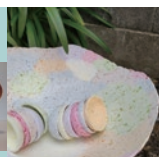
大本山 建仁寺 大書院

循環型社会形成への関心を一般の方に持ってもらうにはデザインやアートの力が大きな役割を担います。アーティストが「捨てられるもの」をどのように変えるのか。見る人は、まず作品に魅力を感じ、次にその素材が「捨てられるもの」であることに驚きを覚えます。理屈ではなく感覚に訴えることで、興味がより自分のものとなります。繊維屑をパウダーにして紙や建築資材を作ることを進めている(一社)サーキュラーコットンファクトリーの協力を得て、第一線で活躍する作家、デザイナー18名が趣旨に賛同し、新しく制作に取り組みました。広義のアップサイクルアートとして蛍光管ガラス、廃校木材などを素材としている作品もあります。「捨てられるもの」に新たないのちを与え、それがアートとして人の心を惹き付けることで、循環型社会形成の一助になることを目指します。

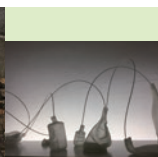
参考作品



佐伯和子



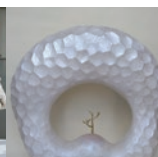
小野文則



金子武志



半谷学



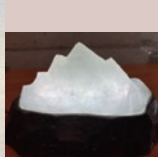
松田重仁



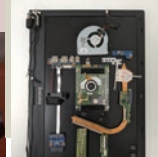
今村敬子



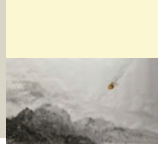
おつたかし



藤原郁三



前田亮三



沈偉群

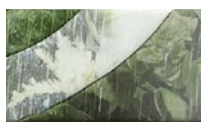
M
06

いのち輝く Well-being アート展
10/22(火)–30(水)

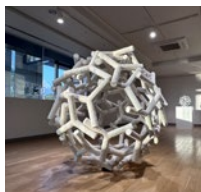
真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺 本坊

2024年9月の国連未来サミットでは、Beyond SDGsの重要テーマの候補として、「Well-being」が挙げられるなど、「Well-being」の重要性がますます高まっています。アートを通して感じる想像力や言葉にかえられない心への響きはいのちを輝かせ、活動意欲や幸福感に繋がります。そのような「Well-being」に寄与するアートを、天皇家から篤く信仰されてきた総本山御寺泉涌寺の本坊で表現し、「Well-being」と「祈り」を感じる空間を創出いたします。(一社)夢洲新産業・都市創造機構の事務局である(株)健康都市デザイン研究所は企業・病院・ホテルなどの環境アート事業に長年携わっており、ノンバーバルなコミュニケーションを生み出すアートや健やかで文化的な環境づくりにも繋げていきたいと存じます。

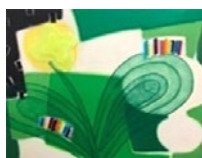
出展作家・参考作品



雨山智子



半谷学



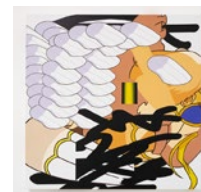
片山みやび



藤井智子



藤崎了一



山崎由紀子

M
07

村田好謙展 「天照の恵」 光と水がもたらす生命の力
10/17(木) - 24(木)

大本山 建仁寺 小書院

鮮やかな色彩と精緻な筆遣い。繊細な表現でありながらダイナミックな作風で、見る人を異次元に誘い込む、村田好謙氏の漆芸作品を展示。

村田好謙氏

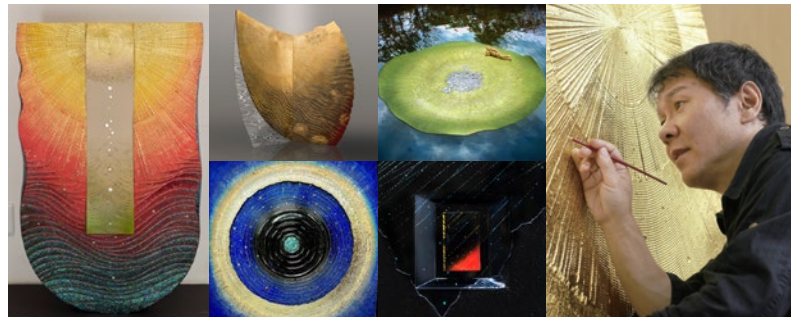
好謙漆工房主宰・日展会員

一般社団法人工芸美術日工会 常務理事、事務局長

京都工芸美術作家協会副理事長

工芸美術創工会会員

好謙漆工房 koken@iris.eonet.ne.jp



参考作品

村田好謙氏

M
08

未来を創るU35(under35)アート展
10/12(土) - 20(日)

真言宗泉涌寺派総本山 御寺泉涌寺 舍利殿

IT・テクノロジーの革新により、未だかつてない発展を遂げつつある現代に於いて、デジタルネイティブとして生まれ育ち、多くの情報と技術を操る世代はアートで何を表現するのか。若い感性で紡ぎ出されたアートにより明るい未来を展望する展示会です。35歳以下の作家・アーティストに絞り、開催致します。

出展作家
参考作品



高屋永遠



大井真希



大嶋玄



逢香



尼崎彩希



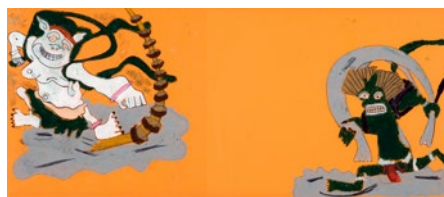
高山滉平

M
09

想像力あふれるダイバーシティアート展 ~なつかしい明日へ...誰もが出来るコト今ひとつひとつ
11/11(月) - 17(日)

鷲峰山 高台寺 利生堂

特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構 (天才アート KYOTO) の協力により、豊かな感性が煌めくアート展を開催致します。さまざまな障害がありながらも、その優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的な芸術を支援してきた天才アート KYOTO。その作品は、障害の有無に関わらず表現者として心象に向き合い創出された世界そのもので、人生の中にアートが定着していく確かなマイルストーンにも他なりません。No ART No LIFE ...まさに芸術の秋、太閤秀吉様とねね様ゆかりの高台寺で素敵なひとときをお楽しみください。



三津田一輝



服部可菜恵

M
10

アフリカンアート展
10/22(火) - 10/30(水)

真言宗泉涌寺派総本山 御寺泉涌寺 舍利殿

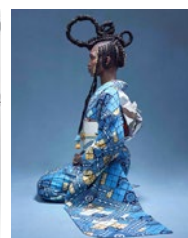
アフリカンアート実行委員会 (委員長: ウスビ・サコ氏 前京都精華大学学長) と (一社) 夢洲新産業・都市創造機構の共催により、多様な文化の源ともいえるアフリカ大陸が生んだ「アフリカンアート」展を開催致します。カメルーン出身の現代アーティスト、セルジュ・ムアング氏による彫刻や着物、漆芸など、日本とアフリカの垣根を超えた作品の数々をご覧ください。世界 161 カ国から公式参加国が集まる 2025 日本国際博覧会に向けて、さらにその先の未来に向けて、アフリカンアートは、国境を越えて多様な国々の人々の心を繋ぎ、いのち輝く未来社会を共創していくうえで、重要な役割を担います。



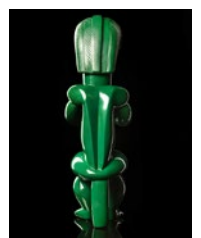
ウスビ・サコ氏



セルジュ・ムアング氏



参考作品



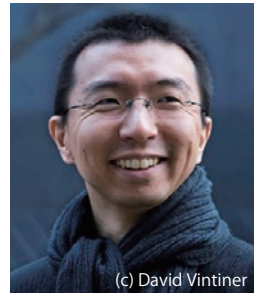
M
11

御寺泉涌寺における アート制作ワークショップ
11/19(火)、20(水)、21(木)、22(金)、29(金) <早朝> (全5回)

真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺

建築家(2025年日本国際博覧会 会場デザインプロデューサー)
藤本壮介氏監修のアートワークショップを開催

おもにインバウンドの方を対象としたアートワークショップ。ガラスアートワークを得意とする片山みやび氏が、藤本壮介氏の監修に基づきアートワークショップを担当。さらに参加者がフュージングガラスに描いた絵をひとつの作品としてまとめあげ後日御寺泉涌寺に奉納します。併せて、特別拝観や僧侶ご法話に加え、京都の有名料亭監修の朝食など貴重な文化体験も提供します。※近日中に販売サイトは公開予定です。主にインバウンド対象ですがどなた様でもお申込みいただけます。



(c) David Vintiner



片山みやび氏

藤本壮介氏

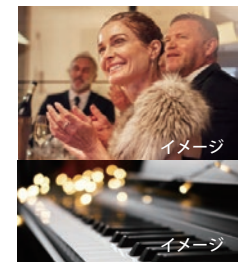
M
12

世界文化遺産 京都 仁和寺における特別ジャズピアノコンサート
11/8(金) 17:00-

世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺

2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー
「いのちを高める」中島 さち子氏がジャズピアノを披露

おもにインバウンドの方を対象とした、貴重な歴史文化体験と特別ジャズコンサート。世界遺産である仁和寺の、通常は入場できないエリアにて、京都の有名料亭監修のディナーを召し上がっていただき、中島さち子氏によるジャズピアノとご詠歌・能のスペシャルコラボコンサートをご堪能いただけます。※近日中に販売サイトは公開予定です。主にインバウンド対象ですがどなた様でもお申込みいただけます。



イメージ

イメージ

中島さち子氏

M
13

高台寺における アバターが接待する特別茶会とアンドロイド観音の法話体験
11/12(火)、13(水)、14(木)、15(金)、17(日) <早朝/夜間> (全10回)

鷲峰山 高台寺

2025年日本国際博覧会 テーマ事業プロデューサー
「いのちを拓げる」石黒浩氏監修の 近未来 × 伝統体験

おもにインバウンドの方を対象に、十二単アバターがモニタを通して接待する特別な茶会や、アンドロイド観音マインダーの法話(プロジェクションマッピング)などの特別な体験を提供します。法要参席や僧侶のご法話、僧侶の導きでの特別拝観(非公開エリア含む)や精進料理、旬の京野菜を使用した懐石料理など京都の有名料亭監修のお食事もお楽しみいただけます。※近日中に販売サイトは公開予定です。主にインバウンド対象ですがどなた様でもお申込みいただけます。



石黒浩氏

J
01

SHOSA:Future Dialogue 複数の心のつながり
ATR (株式会社 国際電気通信基礎技術研究所)
10/3(木) ー6(日) 京都府相楽郡精華町光台二丁目2番地2

「所作」とは、日本の文化において培われた、身体と心をつなげ相手と自分を調和させるための暗黙のコミュニケーションです。私たちは、この「所作」を現代において進化させ、相手や環境との関わりの中で、豊かな心の表現を生み出すことを目指しています。この進化した「所作」を「Shosa」と呼び、「Shosa」は人間だけでなくロボットなどあらゆる「いのち」との関わりの中で多様な心を表現します。本作品は、アンドロイドと人間の、1対1または、1対2のコミュニケーション体験です。来場者は光と音に包まれた Shosa を通じたコミュニケーションによって、アンドロイドとの間に新たな心のつながりを体験します。※体験は事前申し込み制です

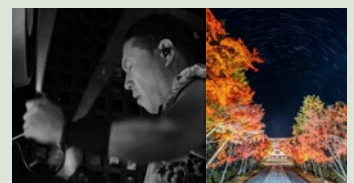


お申込みフォーム▶

J
02

和太鼓 木村善幸 世界遺産仁和寺コンサート
祈りの舞台 2024 「芸術感性融和の夜」
11/1(金) ー2(土) 京都府京都市右京区御室大内 33

作編曲・指揮に山下康介、和太鼓に木村善幸、この日のための特別編成 Kyoda Japan philharmony Orchestra、そして御詠歌・声明の御室金剛講、それぞれの持ち味を存分に発揮しながらも融和を重ねていく。そしてラストはコンサートのために作曲された祈りをテーマにした新曲が披露される。世界遺産仁和寺からホンモノにこだわった芸術をグローバルに発信展開するため、国際的に評価の高い、北海道在住の和太鼓・津軽三味線二刀流独奏家「木村善幸」が芸術監督に就任。また音楽監督には玉置浩二、今井美樹、ゴスペラーズ他など著名なアーティストのシンフォニックコンサートでオーケストラアレンジ、音楽監修を数多く行う、日本至極の作編曲家「山下康介」氏を迎え、世界遺産の景観美そのままを舞台にして、祈りをテーマに上質で気高く香り漂う音色を世界に向けて発信する。混迷を極める世界に一筋の光を…。※チケットの事前購入が必要です。



芸術監督 和太鼓 津軽三味線二刀流演奏家 木村善幸氏

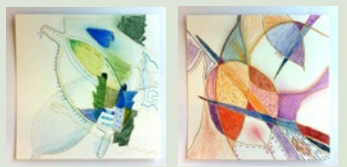
J 03 ひろしま安芸高田神楽
安芸高田神楽協議会 11/3(日・祝) 12:30~
平安神宮 應天門 京都府京都市左京区岡崎西天王町 97

「ひろしま安芸高田神楽」は、きわめて演劇性が高くスピード感にあふれた勇壮な奏楽、豪華絢爛な衣装、そしてわかりやすいストーリーで構成され、現在、広島県安芸高田市で22の神楽団により継承されています。先進七カ国主要会議(G7サミット)の主会場で、各国首脳たちを前に安芸高田市と北広島町の若手が「八岐大蛇」を上演されました。今回は広島県安芸高田市の錦城神楽団(きんじょうかぐらだん)により、古くから地域に伝わる神楽「儀式舞」「塵倫」「八岐大蛇(やまたのおろち)」を、平安神宮にて奉納します。



J 04 脳がめざめるアート体験 私だけの紅葉を描こう!
株式会社フェリシモ 11/10(日)
世界遺産 真言宗総本山 東寺(教王護国寺) 京都府京都市南区九条町 1

Rin-b! (リンビー)は老若男女問わずうまい下手などの概念にとらわれない、今までにない新感覚の本格的なアートです。
今回のワークショップでは秋の葉っぱと500色の色鉛筆を使って、世界で一枚だけのオリジナルアートが出来上がります。
いつのまにか没頭できる、非日常なアート時間をぜひ一度体験してください。
※ Rin-b! (リンビー)のアートプログラムは、脳の活性化のために開発された「臨床美術」をベースとした、オリジナルのアートプログラムです。
開催日: 11月10日(日)
時間: 午前の部 10:00~11:20 / 午後の部 13:30~14:50
定員: 各回 20名程度 ※小学生以上



作品例

詳細とお申し込みはこちら(11月5日頃より受付開始)→



J 05 Commons Garden / 新たな時代の新たな表現
梅野星歩 10/1(火)~8(火)
世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺 京都府京都市右京区御室大内 33

私は京都を始め国内外で活動する空間アーティストです。アート活動を通じ地域資源や現代の課題・希望を可視化し共有・共感する表現を行っています。
昨年2023年5月には広島G7会場で、9月には醍醐寺で行われた日本国際芸術祭に「Commons Garden / 新たな時代の新たな表現」を出展。本年度も昨年の形を継承しつつ場所の声を組み込んだ作品にできればと考えています。2025年は戦後80年という節目でもあり現在も世界中で起きている戦争の状況も踏まえ「平和」についてがメインテーマとなっています。EXPO2025のテーマである「命」についても作品を通じ感じられるような非日常空間の作品です。



日本の伝統的な遊びの一つである折り紙をモチーフに、日本国際芸術祭の目指すものを、伝統と文化、高い技術で折り込まれた芸術でもある折り紙の持つ可能性と重ね合わせ、伝統色である和色で表現しています。

◀ 第2回日本国際芸術祭ホームページ

2024年9月18日現在の情報です。今後企画が増え次第、随時更新いたします。

第2回日本国際芸術祭 連携企画

L 01 特別展「漆芸礼讃一漆工・三砂良哉一」
公益財団法人 阪急文化財団 逸翁(いつおう)美術館
9/21(土)-11/24(日) 大阪府 池田市 柴本町 12-27



大阪を代表する漆芸家の一人として活躍した三砂良哉(みさざりょうさい)を初めて大々的に取り上げる特別展。三砂良哉(1887~1975)は、西宮で生まれ、日本画を学んだ後に漆芸の道に入り、大阪を拠点に活躍しました。遺された作品は、絵画的で精妙優美な作風で知られ、技術力の高さだけでなく創作性・デザイン力に満ちあふれています。その漆芸の粋を集めた作品をぜひご覧ください。

L 02 常設展示
清水焼の郷会館
京都府京都市山科区川田清水焼団地町 10-2



当会館は、清水焼団地協同組合が運営し、組合員の陶磁器作品を主に展示しております。またアンテナショップとして会館周辺の陶磁器の窯元や小売店(卸店)、ギャラリーなどを案内しております。
当団地にお見え頂き、多彩な京焼・清水焼の陶芸作品を楽しんで頂ければ幸いです。

L 03 泉州美食 EXPO「TEAM EXPO 2025」テーマセッション 未来の食
食学校法人村川学園 大阪調理製菓専門学校
10/24(木) 大阪府泉大津市東豊中町 3-1-15



公益社団法人2025年日本国際博覧会協会が共催で行うテーマセッション。今回のテーマは「未来の食」。「Food」と「Technology」を組み合わせた「フードテック」という新しい食の形は、最先端のテクノロジーを駆使して食に関する問題を解決し、食の可能性を大きく広げています。今回はそんなフードテックや、食品の無駄を減らすフードロスの観点からも、食をとりまく未来の姿について考えます。

L 04 ミュージアムチケット付! 茶臼から抹茶づくり体験
お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな
10/1(火)~ 京都府宇治市寛道丸山 203-1



お茶や宇治のまちを深く学べるミュージアムチケット付き! 目の前に広がる茶畑や宇治の風景を見ながら、ご自身で茶臼を挽き抹茶を作って頂けます! そのあとは日本茶インストラクターから指導を頂きながら、ご自分で点てた抹茶を飲んで頂きます。『挽く』『点てる』『飲む』の三拍子が揃った抹茶づくしの体験を是非お楽しみください。

L 05 お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな 開館3周年記念キャンペーン!
お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな
10/1(火)-2025.1/13(月・祝) 京都府宇治市寛道丸山 203-1



日本茶・宇治茶の聖地で、日本の美と心を体験お茶と宇治のまち歴史公園茶づなは、2024年10月で開館3周年を迎えます。皆様への感謝を込めて、今秋10月1日から記念イベントとお得なキャンペーンを開催いたします。

L 06 音と茶で愉しむ文化人の遊び~雅な世界へ~
お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな
11/2(土) 京都府宇治市寛道丸山 203-1



「夜の茶づな」へ限定人数をご招待。普段入ることのできない夜の茶づなで、自然の明かりをたよりに、お茶を深く味わい、香と音(ピアノと伝統的なおりにによる演奏)をお楽しみいただく。空間、茶、香、音など、五感で研ぎ澄ましなが、『智覚』へ。

L 07 第12回「天才アート展2024」
特定非営利活動法人 障害者芸術推進研究機構 (天才アートKYOTO)
10/1(火)-14(月・祝) 堀川御池ギャラリー 京都府京都市中京区油小路通御池押小路町238-1



さまざまな障害がありながらも、その優れた感性と表現力、そこから湧き出る独創的な世界観を、より多くの方々に出会い識ってもらう機会として「天才アート展2024」を開催する。人生の中に広くアートが定着し素敵なインフラとなることを願い、第12回を迎える今回は「(カンマ)」。アフターコロナにあって多様な一区切り、新たなキックオフを作品に託し、登録作家40余名の力作を展示する。

L 09 洛宙 KANSEI アート展京都2024
洛宙 KANSEI アート展実行委員会
10/12(土)-20(日) 御寺泉涌寺 京都府京都市東山区泉涌寺山内町27



「感性」「伝統」「未来」をテーマに、歴史ある建築空間と現代の美術・工芸とが融合した日本の伝統美を京都から世界に向けて発信することを目的としたアート展。世代やジャンルを超えたアーティスト達が皇室の菩提寺である御寺泉涌寺を舞台に感性あふれる作品を展示します。
洛宙 KANSEI ▶

L 11 特別展「フィールドミュージアム琵琶湖疏水、いこいの散策路・疏水分線〜水路閣・哲学の道 穏やかな水の流れとともに〜」
琵琶湖疏水記念館 6/25(火)-12/22(日) 京都府京都市左京区南禅寺草川町17



沿線全体をフィールドミュージアムとして位置付ける琵琶湖疏水。疏水分線は、琵琶湖疏水の本線から分岐する水路で、明治23年3月に完成しました。当時の全長は約8.4キロメートルあり、東山の山麓に沿って、南禅寺、若王子、「哲学の道」を経て、高野川、賀茂川を横切り、堀川付近の小川へと流れていました。本特別展では、「疏水分線」の建設と多様な水利用の歴史を、貴重な資料とともにご紹介しています。

L 13 京都高等工芸学校シリーズ2 東洋へのまなざし
—京都高等工芸学校初期収集の陶磁器を中心に—
京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 9/2(月)-10/26(土)
京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地



京都工芸繊維大学の前身校のひとつである京都高等工芸学校では、教材として多くの「参考品」を購入していました。本展では、初期の収集品のなかから、これまであまり注目してこなかった中国大陸や朝鮮半島で製作された陶磁器を展示します。そこには後漢時代の出土品や三国時代の新羅でつくられた土器なども含まれています。京都高等工芸学校の図案教育の、これまで知られていなかった側面をご覧ください。

L 15 京都高等工芸学校シリーズ3
京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
11/11(月)-12/21(土) 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地



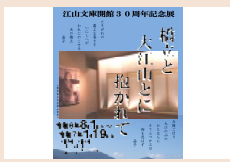
京都工芸繊維大学の前身の一つである京都高等工芸学校は、明治35年(1902)、京都の伝統産業の近代化と新しいデザインをうみだす人材の育成を目的として開校しました。本展では、京都高等工芸学校初期教員の活動の一端を紹介します。

L 17 重要文化財・大風呂南1号墓出土品ガラス釧他
ほぼほぼ全品特別公開 与謝野町立古墳公園はにわ資料館
10/22(火)-11/17(日) 京都府与謝野町字明石 2341



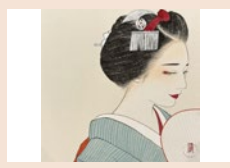
重要文化財「大風呂南1号墓出土品」には、原丹後王の活躍を物語る多彩な副葬品があります。1800年の時を超えて青く輝く「ガラス釧(くしろ)」をはじめ、「銅釧」や鉄釧などほぼ全品を公開します。

E 19 江山文庫開館30周年記念展「橋立と大江山とに抱かれて」
与謝野町立江山文庫
8/1(木)-2025.1/19(日) 京都府与謝野町字明石 2341



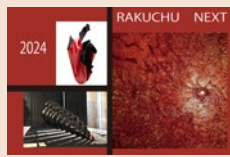
平成6年に開館した江山文庫は、令和6年に開館30周年を迎えます。これを記念して、館蔵の名品や地域ゆかりの与謝野晶子が丹後を訪れた際に大江山を詠んだ短歌の六首屏風などを紹介しています。会期中に複数回の展示替えを行い、第13回与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会を開催する11月には、地域に残る蕪村の直筆俳画作品も展示します。

L 08 諫山宝樹 日本画作品展 (仮称)
白沙村荘 橋本関雪記念館
10/19(土)-11/4(月・祝) 京都府京都市左京区浄土寺石橋町37



東映撮影所の映画舞台美術を経て、近年はNHK連続テレビ小説「スカーレット」の絵付け・日本画指導、NHK大河ドラマ「光る君へ」の衣装人物画担当、都をどりのポスター原画制作、八坂神社の支支大給馬を手がけるなど幅広い活躍を見せる日本画家、諫山宝樹の個展を白沙村荘 橋本関雪記念館にて開催いたします。書き下ろしの新作に加え、一部の過去作や宇治田原の正壽院(風鈴寺)の本堂障壁画なども展示予定。

L 10 洛宙 Next
洛宙 KANSEI アート展実行委員会
10/12(土)-20(日) 御寺泉涌寺 仏殿 京都府京都市東山区泉涌寺山内町27



洛宙がプロデュースする若手作家プロジェクト。日本の伝統美を次世代へ繋いでいくことを目的として、将来有望な若手アーティストを発掘し、価値ある舞台での作品発表の場を提供すると同時に国内外に広くその活動を発信します。若手作家の憧れの存在となり、彼らの感性と創造性を最大限に引き出し、社会的・経済的な価値を生み出すことを目指しています。

L 12 お茶席+京伝統工芸制作体験 @非公開京町屋
株式会社ニッセン
11/16(土)-17(日) 非公開京町屋 (参加者のみ詳細公表)



京都そして、京文化の奥を体験していただきたいという想いから、人気のお茶席も伝統工芸品の制作も一気に体験できる内容になっています。さらに体験する場所は普段、足を踏み入れることができない非公開の京町家で実施しますので、京町家の雰囲気も体験することができます。京都の奥深さを感じられる体験会になります。きっと今までの観光では味わえなかった楽しみが見えてくるはずです。

L 14 SDレビュー2024 第42回建築・環境・インテリアの
ドローイングと模型の入選展 京都展
京都工芸繊維大学 美術工芸資料館 10/3(木)-10/26(土)
京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地



本展は、「実施を前提とした設計中ないしは施工中のもの」という条件で、建築家・デザイナーたちの作品を公募し、厳正なる書類審査を経て、選ばれた入選作を展覧に供す、という形式が特徴です。5年ぶりの京都での開催となる本展では、4人の審査員が選んだ13組の作品を展示し、あわせて各組へのインタビュー映像を上映します。また、審査員と入選者が語りあう公開プレゼンテーションを10/12に開催します。

L 16 レンズを通して観る浮世—広重の名所の「いま」を撮る
京都工芸繊維大学 美術工芸資料館
11/18(月)-12/21(土) 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地



写真家として活動している東京大学講師アレックス・エノ氏は江戸時代の歌川広重による「名所江戸百景」シリーズを、現代の東京に置き換えて撮影しており、その成果は海外での展覧会でも公開されている。エノ氏の作品は、江戸時代の名所絵のあり方を考えるうえで大変重要である。本展では、同じ広重の「名所」シリーズをもとにした新作も合わせて展示し、名所表現のあり方を検討する機会としたい。

L 18 江山文庫開館30周年 第13回与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会
与謝野町立生涯学習センター 知遊館
11/24(日) 京都府与謝野町字岩滝 2271 番地



与謝蕪村の母親の故郷といわれる丹後・与謝野町、名句「夏河を越すうれしさよ手に草履」には「丹波の加悦といふ所にて」の前書があり、当地で詠まれたことがわかります。大江山連峰や野田川の流れ、大内峠から眺める天橋立など、豊かな自然をいただくで与謝野町から、丹後を訪れた文人たちが培ってきた俳句文化の振興と、与謝蕪村の顕彰を目的として、第13回目となる俳句大会を開催します。

E 20 みて、つくって、あじわって。五感で体感する京の食文化
京の食文化ミュージアム・あじわい館
常設展示 京都府京都市下京区中堂寺南町130 番地 京都青果センタービル3階



当館は京の食文化について学べるミュージアムです。みて、きいて、あじわって、京の食文化を感じるここが出来るあじわい館には、五大利理や日本酒、お茶、和菓子和菓子など、京都の食にまつわる多彩な展示だけでなく、出汁の試飲コーナーや京の逸品が手に入るお土産コーナーも展開しております。また京都の食材を使った料理教室も多数開催しております。(有料・要予約) 詳しくはHPよりご覧ください。

L 21 シルクロードの煌めき デザインの源流と西陣織の技
西陣織あさぎ美術館 7/28(日)-12/27(金)
京都府京都市下京区烏丸通仏光寺上ル二帖半敷町 661 ツカキスクエアF



西陣織に使用される文様には、シルクロードによりもたらされたものが沢山あります。日本も奈良時代より、朝鮮半島の国々からシルクロード経由の交易品を取り込み、平安時代にはそれらを基に和様の文化を花開かせ、時を経て日本の文化は海外へとめぐっていきましました。悠久の時を経てもお私たちが惹きつけ続けるシルクロード、西陣織で表現されたシルクロードの文様をお楽しみください。

L 23 常設展「お菓子のあゆみ」
京菓子資料館 2階展示室
京都府京都市上京区烏丸通上立売上る柳園子町 331-2



常設展「和菓子のあゆみ」では、菓子の古書や図案帳、菓子木型や模型などを展示しており、古代から現代に至るまでの菓子のあゆみを学ぶことができます。また、菓子職人の技術の結晶である華やかな糖芸菓子を、真近でお楽しみいただけます。一階のお茶席で、作りたての上生菓子と宇治抹茶をお召し上がりいただき、和菓子を「見て・食べて・感じる」ひとときをお過ごしください。

L 25 特別展「東郷青児 美の変奏曲 (ヴァリエーション)」
神戸市立小磯記念美術館
10/5(土)-12/15(日) 兵庫県神戸市東灘区向洋町中 5-7



SOMPO美術館が収蔵する東郷青児作品から、油彩・素描・彫刻等、約70点を展示します。東郷は、戦前より前衛的な作風で知られ、戦後いち早く二科会を再建し、長く同会を牽引しました。もの憂げな女性像に、ひとめで東郷のものとする独自の定型を作り出しました。本展では、初期から晩年までの画業を一望します。

L 27 きみもオペレーター！～町のはたらく車ひろば～
西尾レントオール(株) R&D 国際交流センター A棟
10/26(土)-27(日) 大阪府大阪市住之江区南港北 1-12-75



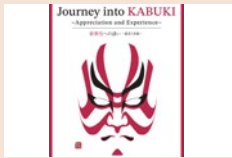
ショベルカーや高所作業車、フォークリフトなど工事現場ではたらく車がサキシマに大集合！なかには乗車体験できる車も！！はたらく車を見たり体験したり(写真撮影もOK！)、子供から大人まで、みなさん工事現場のオペレーター(操縦士)になった気分でお楽しみいただけるイベントとなっています！※参加無料・事前申込み不要 ※天候等により中止や内容変更となる場合がございます。

L 29 錦秋喜劇特別公演「太夫さん」
南座
10/3(木)-27(日) 京都府京都市東山区四条大橋東詰



詩情あふれる京都の島原遊郭を舞台に笑いあり、涙ありの人間模様をお楽しみください。昭和三十年に初演された、北條秀司の代表作。今回の南座ではきみ子役に藤山直美。三林京子がおおいを初役で勤め、善助に田村亮、そして安吉に駿河太郎を迎え、清新な顔ぶれで京情緒ゆたかな名作をお楽しみいただけます。

L 31 Journey into KABUKI ~ Appreciation and Experience ~
歌舞伎への誘い ~鑑賞と体験~
南座 11/2(土)-10(日) 京都府京都市東山区四条大橋東詰



このたび、南座で新しい試みとして上演されるこの公演では、「年齢・国籍・言語を問わず楽しんでいただける歌舞伎」をテーマに、舞台鑑賞に加えさまざまな体験を一度にお楽しみいただけるプログラムをお届けします。歌舞伎ファンの方はもちろん、初めて歌舞伎をご覧になる方や、海外からお越しの方まで、幅広いお客様に楽しんでいただける内容を取り揃えました。

L 33 11月松竹新喜劇公演
大阪松竹座
11/16(土)-24(日) 大阪府大阪市中央区道頓堀 1-9-19



5月大阪松竹座公演中に11月松竹新喜劇公演の二本目の演目を一般投票で決定する「松竹新喜劇演目総選挙」を実施いたしました。たくさんご投票いただき本当にありがとうございました。ご投票の結果、上演作品は得票数の最も多かった「人生双六」に決定いたしました！もう一本は、既報の通り『砂糖壺』を上演いたします。

L 22 秋の芸術・京都紅葉観光
ユニオンタクシー株式会社
10/1(火)-12/15(日)



京都の秋の芸術 貸切タクシーで京都を自由に観光できるフリープラン。京都の道を熟知したベテランドライバーにおまかせ！移動時間を短縮して、効率よく観光を楽しめます。各観光スポットでは、乗務員が同行してガイドもしてくれるので、個人だけでは分からない京都の新たな魅力を発見！また、最大8時間の貸切が可能！ご利用人数に合わせて2つの車種をご用意。あなただけの自由な旅をお楽しみください。 ▲予約サイト

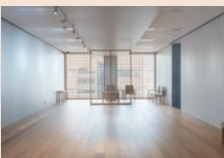


L 24 Haiku と Haiga - 芭蕉と蕪村、2人のカリスマ—
嵯峨嵐山文華館
10/12(土)-2025.1/19(日) 京都府京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町 11



俳句といえば、松尾芭蕉、そして与謝蕪村という二人の名前が浮かんでくるのではないのでしょうか。本展では松尾芭蕉直筆の《ふる池や》短冊、同じく芭蕉が自ら筆をとして描いた絵が添えられた《野ざらし紀行図巻》、蕪村が直筆で俳句と絵を描いた《いかだし》等、俳句として俳画の秀作をご紹介します。二人のカリスマゆかりの嵐山にふさわしい展覧会です。

L 26 田辺竹雲齋展—伝統と現代化の適合—
アートスペース福寿園
10/25(金)-12/22(日) 京都府京都市下京区四条通富小路角 福寿園京都本店 7階



竹雲齋は、竹素材による作品を生み出してきた。代々受け継ぐ伝統的な技術と哲学の継承、そして洗練された美しさを表現することを目標に制作してきた。また「伝統とは挑戦なり」を家訓とし革新的な作品に挑戦してきた。竹素材による伝統工芸の可能性無限にある。「伝統と現代化の適合」が未来への継承であり、伝統的な価値や文化を尊重しつつ、現代の社会やテクノロジーに合わせて進化させることが展覧会のコンセプト。

L 28 令和6年度(2024年度)秋季特別展「紙芝居の歴史と阪本一房」
吹田市立博物館 特別展示室
10/12(土)-11/24(日) 大阪府吹田市岸部北 4-10-1



紙芝居の源流とされるのぞきからくり、錦影絵(写し絵)、街頭紙芝居、教育紙芝居、国策紙芝居、手づくり紙芝居、高齢者向け・介護紙芝居などで、紙芝居の歴史をたどるとともに1920年代の大正新興美術運動の流れを汲む「人形紙芝居出口座」の主幸で、紙芝居に新たな芸術性をもたらす革新運動に取り組んだ阪本一房の紙芝居への思いに迫ります。

L 30 市川海老蔵改め十三代目市川團十郎白猿襲名披露
十月大歌舞伎 八代目市川新之助初舞台
大阪松竹座 10/10(木)-26(土) 大阪府大阪市中央区道頓堀 1-9-19



<昼の部>
通し狂言 雷神不動北山櫻(なるかみふどうきたやまざくら)
<夜の部>
一、義経千本桜(よしつねせんぼんざくら)
二、一條大藏譚(いちじょうおおくらものがたり)
三、十三代目市川團十郎白猿 八代目市川新之助 襲名披露口上
四、河竹黙阿弥作連獅子(れんじし)

L 32 有頂天家族
南座
11/16(土)-23(土・祝) 京都府京都市東山区四条大橋東詰



シリーズ累計55万部を誇る、森見登美彦の大人気小説「有頂天家族」を、このたび、ストレートプレイとして、舞台化するとのことが決定いたしました！舞台では、「森見節」炸裂の小気味よい台詞の応酬を繰り広げるとともに、演劇ならではのアナログな手法で視覚的な面白さも追求し、作品のファンタジーな展開を魅せます。どうぞご期待ください！

L 34 珈琲とうつわ 4th
京都伝統産業ミュージアム 10/5(土)-10/19(土)
京都府京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 京都市勤業館みやこめっせ地下1階

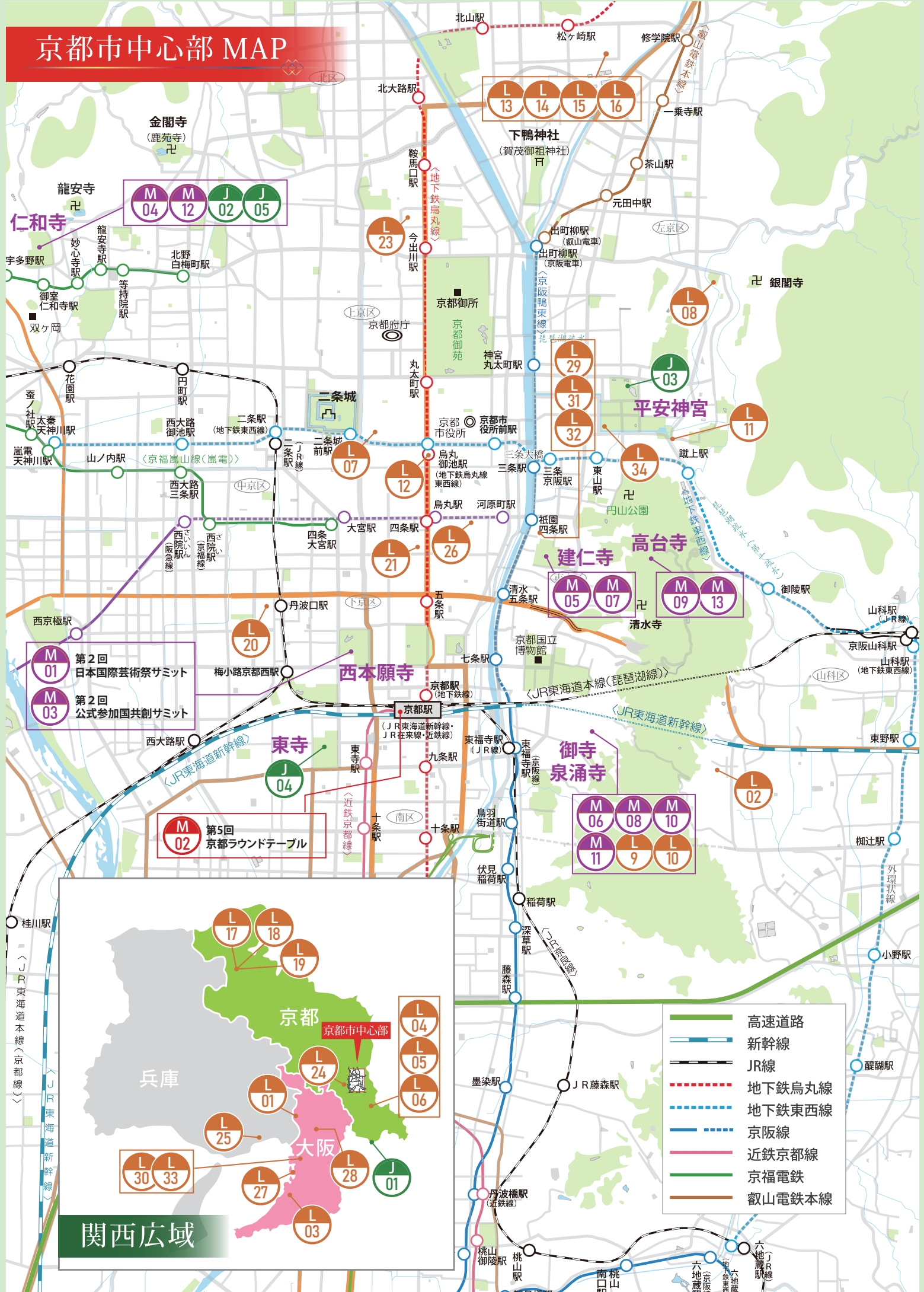


京焼・清水焼や京漆器の職人・作家によるコーヒーカップやマグカップなどの展示販売会。「京都村上開新堂」、「グロープマウンテン珈琲」、「ニューバード」、「暖々」、「ABURU」等による特別出店もあり、会場でゆっくりとコーヒーや焼菓子もお楽しみいただけます。コーヒーをよりおいしく、素敵なひとときに変えてくれるお気に入りのうつわをぜひ見つけてください。

スケジュール

主催者企画 メイン企画	M01	第2回日本国際芸術祭サミット / 龍谷山本願寺 (西本願寺)	10/10		
	M02	第6回機運醸成京都ラウンドテーブル / ホテルグランヴィア京都	10/12		
	M03	第2回公式参加国共創サミット / 龍谷山本願寺 (西本願寺)			11/7
	M04	日本の誇りクラフトアート伝統 × 革新展 / 世界遺産 真言宗御室派総本山仁和寺	前期 10/1-11 後期 10/12-20		
	M05	アップサイクルアート展〜未来のために〜 / 大本山 建仁寺	10/17-24		
	M06	いのち輝く Well-being アート展 / 真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺	10/22-30		
	M07	村田好謙個展「天照の恵」光と水がもたらす生命の力 / 大本山 建仁寺	10/17-24		
	M08	未来を創るU35 (under35) アート展 / 真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺	10/12-20		
	M09	想像力あふれるダイバーシティアート展 / 鷲峰山 高台寺			11/11-17
	M10	アフリカンアート展 / 真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺	10/22-30		
特別体験 プログラム	M11	御寺泉涌寺におけるアート制作ワークショップ / 真言宗泉涌寺派総本山 御寺 泉涌寺			11/19-22 11/29
	M12	世界文化遺産 京都仁和寺における特別ジャズピアノコンサート 世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺		11/8	
	M13	高台寺におけるアパターが接待する特別茶会とアンドロイド観音の法話体験 鷲峰山 高台寺			11/12-15 11/17
参加企画	J01	SHOSA:Future Dialogue 複数の心のつながり ATR (株式会社 国際電気通信基礎技術研究所)	10/3~6		
	J02	和太鼓 木村善幸 世界遺産仁和寺コンサート祈りの舞台 2024「芸術感性融和の夜」 世界遺産 真言宗御室派総本山 仁和寺		11/1,2	
	J03	ひろしま安芸高田神楽 / 安芸高田神楽協議会		11/3	
	J04	脳がめざめるアート体験 私だけの紅葉を描こう！ / (株)フェリシモ			11/10
	J05	Commons Garden / 新たな時代の新たな表現 / 梅野星歩	10/1~8		
連携企画 ※期間中の定休日はホームページ等でご確認ください。	L01	特別展「漆芸礼讃一漆工・三砂良哉一」 / 逸翁美術館		9/21-11/24	
	L02	常設展 / 清水焼の郷会館			常設展示
	L03	泉州美食 EXPO「TEAM EXPO 2025」テーマセッション 未来の食 / 学校法人村川学園		10/24	
	L04	ミュージアムチケット付！茶臼から抹茶づくり体験 / お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな			開催日はHP等をご確認ください
	L05	お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな、開館3周年記念キャンペーン！ お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな			開催日はHP等をご確認ください
	L06	音と茶で愉しむ文化人の遊び〜雅な世界へ〜 / お茶と宇治のまち歴史公園 茶づな			11/2
	L07	第12回天才アート展 2024 / 特定非営利活動法人 障害者芸術推進機構 (天才アートKYOTO)	10/1-10/14		
	L08	宝樹 日本画展 (仮称) / 白沙村荘 橋本関雪記念館		10/19-11/4	
	L09	洛宙 KANSEI アート展京都 2024 / 洛宙 KANSEI アート展実行委員会	10/12-10/20		
	L10	洛宙 Next / 洛宙 KANSEI アート展実行委員会	10/12-10/20		
	L11	特別展「フィールドミュージアム琵琶湖疏水 いこいの散策路・疏水分線 〜水路閣・哲学の道 穏やかな水の流れとともに〜 / 琵琶湖疏水記念館		6/25-12/22	
	L12	お茶席十京伝統芸制作体験@非公開京町屋 / 株式会社ニッセン			11/16,17
	L13	京都高等工芸学校シリーズ2 東洋へのまなざし 〜京都高等工芸学校初期収集の陶磁器を中心に / 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	9/2-10/26		
	L14	SD レビュー 2024 第42回建築・環境・インテリアのドローイングと 模型の入選展 京都展 / 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館	10/3-10/26		
	L15	京都高等工芸学校シリーズ3 / 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館			11/11-12/21
	L16	浮世絵 vs 写真ー広重の名所の「いま」を撮る / 京都工芸繊維大学 美術工芸資料館			11/18-12/21
	L17	重要文化財・大風呂南1号墓出土品ガラス釦他ほぼほぼ全品特別公開 与謝野町立古墳公園はにわ資料館		10/22-11/17	
	L18	江山人庫開館30周年 第13回与謝野町蕪村顕彰全国俳句大会 与謝野町立生涯学習センター知遊館			11/24
	L19	江山人庫開館30周年記念展「橋立と大江山とに抱かれて」 / 与謝野町立江山人庫		8/1-2025.1/19	
	L20	みて、つくって、あじわって。五感で体感する京の食文化 京の食文化ミュージアム・あじわい館			常設展示
	L21	シルクロードの煌き デザインの源流と西陣織の技 / 西陣織あさぎ美術館		7/28-12/27	
	L22	秋の芸術・京都紅葉観光 / ユニオンタクシー株式会社		10/1-12/15	
	L23	常設展「お菓子のあゆみ」 / 京菓子資料館			常設展示
	L24	Haiku と Haiga ー芭蕉と蕪村、2人のカリスマー / 嵯峨嵐山文華館		10/12-2025.1/19	
	L25	特別展「東郷青児 美の変奏曲 (ヴァリエーション)」 / 神戸市立小磯記念美術館		10/5-12/15	
	L26	田辺竹雲斎展ー伝統と現代化の適合ー / アートスペース福寿園			10/25-12/22
	L27	きみもオペレーター！〜町のはたらく車ひろば〜 西尾レントオール(株) R&D 国際交流センター		10/26,27	
	L28	令和6年度 (2024年度) 秋季特別展「紙芝居の歴史と阪本一房」 吹田市立博物館		10/12-11/24	
	L29	錦秋喜劇特別公演「太夫さん」 / 南座	10/3-27		
	L30	十月大歌舞伎 / 大阪松竹座	10/10-26		
	L31	Journey into KABUKI ~ Appreciation and Experience 〜歌舞伎への誘い〜鑑賞と体験〜 / 南座			11/2-10
	L32	有頂天家族 / 南座			11/16-23
	L33	11月松竹新喜劇公演 / 大阪松竹座			11/16-24
	L34	珈琲とうつわ 4th / 京都伝統産業ミュージアム	10/5-19		

京都市中心部 MAP



仁和寺
M 04 M 12 J 02 J 05

下鴨神社 (賀茂御祖神社)
L 13 L 14 L 15 L 16

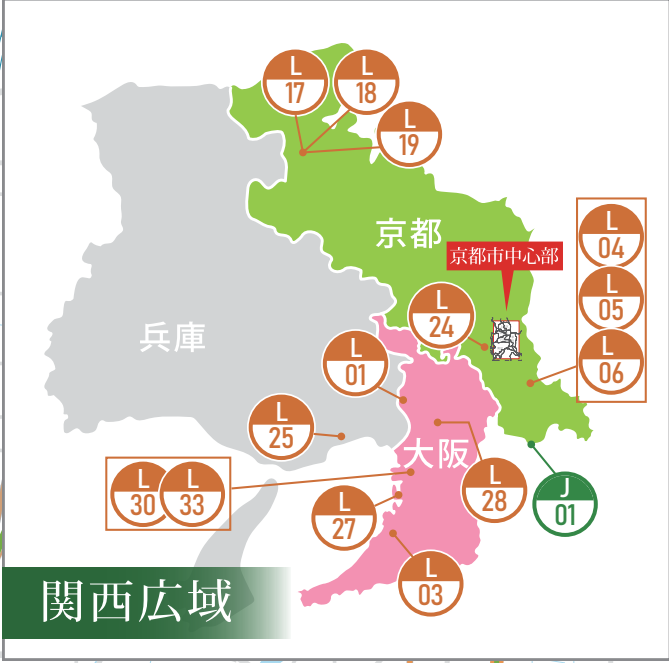
平安神宮
L 29 L 31 L 32

建仁寺 高台寺
M 05 M 07 M 09 M 13

M 01 第2回 日本国際芸術祭サミット
M 03 第2回 公式参加国共創サミット

M 02 第5回 京都ラウンドテーブル

M 06 M 08 M 10
M 11 L 9 L 10



- 高速道路
- 新幹線
- JR線
- 地下鉄烏丸線
- 地下鉄東西線
- 京阪線
- 近鉄京都線
- 京福電鉄
- 叡山電鉄本線